

2013年7月31日

マツダ株式会社

2014年3月期 第1四半期 決算発表

主な質疑応答

1. **第1四半期決算の総括をお願いします。**
 - A. 第1四半期の見通しは公表していませんが、想定以上の為替相場の円安に加え(ドル/ユーロとも期初見通しから9円の円安)、SKYACTIV搭載車両の高い収益および好調な販売により、計画以上の利益を計上することが出来たと評価しています。また、販売面でも、SKYACTIV搭載車両のCX-5、新型Mazda6がグローバルで好調な販売を継続しており、大きな貢献をしています。

2. **為替差損について教えてください。**
 - A. 営業利益と当期利益の差は、営業外損益、特別損益及び税金等の合計▲311億円です。この殆どが営業外費用の為替差損▲272億円です。
当社は、継続して向こう半年間の為替予約を行っているため、急激な円高是正等により(為替予約レートと実際の売上時点レート差等で)為替差損が▲272億円発生いたしました。なお、第2四半期以降は、大きな為替差損は出ない見通しです。

3. **今回、通期見通しの上方修正を行わなかった理由を教えてください。**
 - A. 足元の主要通貨の為替が、期初見通しから大きく乖離していますが、依然として為替動向は不安定な状況が続いており、新興国の景気減速を含め、引き続き不透明な事業環境を慎重に見極めていきます。なお、修正が必要と判断した場合は速やかに実施いたします。